

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 3 月 28 日

事業所名 はぐはぐ子ども村西都

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			8月から園庭のある場所に移転したので、屋外スペースを確保できた。
	2 職員の配置数は適切である	4	1	基準配置より多くなるようにしている。	現状維持。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	車いすでの乗降が可能にしてある。	現状維持。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	毎日、職員間で情報を共有し改善に努めている。	各職員が意見を出し合える環境を、管理者がさらに整備する必要がある。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	今回から実施する。	ホームページにて情報公開する。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		5	今回から実施する。	公開に向け準備中。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	保護者評価を開始した。	これを機会に職員以外の意見を取り入れていきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		外部の研修の他、事業者内でのケース会議がある。	研修での成果を、職員で共有し療育に反映していく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		保護者、療育士、保育士等の観察や意見を聞き計画を作成している。	現状維持。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	細部を網羅したアセスメントツールを使用している。	今後も使用の継続をしていく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	企画を職員で共有している。	基本プログラムを基準に制作や・季節に合わせた活動等計画をし、全員で検討していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	個々の特性や成長変化に合わせて柔軟に対応している。	その時々状態に応じて職員間で話し合い共有している。これからも継続していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	職員間で話し合い共有している。	昼礼等で職員全員と情報を共有している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	プログラムの中で、組み合わせを実施している。	職員間で話し合い、変化に応じて対応している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	ミーティングをして確認を行っている。	個々の支援目的の共有を毎日していく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	振り返りを行い個々の記録に反映しその後の支援に役立てている。	必ず振り返りを行い、記録に残し、次の支援に生かせるようにしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	3つに大きく括りそれぞれにその日の記録を詳しく記録している。	効率のよい記録とするために、内容の見直しをしていく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	日々の記録を月別表にまとめ、ケース会議をし、モニタリングのデータとしている。	現状維持。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2	組み合わせるようにしている。	基本活動を再度検討し、発達の変化に応じた支援となるようにする。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	児発管・保護者・相談支援員・その他必要に応じて学校・保育園等参加している。	場合によっては、療育専門員の参加も考える。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		随時報告が入ると職員間で共有している。	より素早い対応が出来るように努力していく。また、下校時間の変更など、学校から情報がくるような関係性を築いていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	該当者がいない。	該当者がいた場合は、保護者の了解を得て、主治医等との情報の共有をはかりたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	書面や面談にて行っている。	児童発達支援事業所とは、同じ法人であり、相互理解が出来ているので、現状を維持する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	情報を提供している。	現状維持。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		同法人に児童発達支援センターがあり助言を受けている。	今後も相談し、助言を受けていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	遊びを目的に訪問している。	もっと頻度が高くなるよう、努力する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	代表者や児発管が参加している。	現状維持。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		お迎えの際、保護者との会話の中で伝えている。	今後もより話し、情報を共有し共通理解を深めていきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	2	2	I コースが10回のペアトレを行っている。	代表が行っているペアトレの紹介を積極的に保護者に行っていく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	玄関の目に付く所に掲示し、いつでも読めるようにしている。	契約時に行っているが、より丁寧に説明を行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	電話やメールで相談できることを伝えている。	保護者からの相談があればその都度迅速に行っている。心理士との面接の予約も取れるようになっていくこと周知してもらう。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	年に2回、全事業所や地域の方に声を掛け交流の場を設けている。	年に2回の大きなイベントでは、保護者同士の出会いの場があり、これを継続する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			保護者の苦情の対応には、職員からの情報を集め迅速に対応している。保護者の要望があれば担当者会議を開くこともしていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		年に一回のニューズレターや、毎月の「おたより」の発行をしている。	毎月の「お便り」にて日々の活動等や予告など発信しているが、業務に関する自己評価の結果は入れてないので改善していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	4		常時、意識できるよう会議の議題に取り上げている。	細心の注意を払っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		お迎え時に情報を交換したり、困りごとを聞いている。	電話やメールでのやり取りを丁寧にしているため継続する。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		主催しているイベント参加の声をかけている。	書面にて周知し、招待をしている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		保護者に対しての周知には説明の不足を感じているので改善していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		月の「おたより」で訓練の種類等の予告をしている。	各月地震・洪水・火事を想定して行っている。また「お便り」にて避難訓練の様子も発信している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	職員全員が研修に行けるよう計画をしている。	職員が研修に行き全職員に周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	まず、職員間で共通理解をすることに行っている。	計画に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	利用前のアセスメント時に聞き取りをしている。	保護者からの相談があれば職員間で共有し対応していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		5	会議で共有している。	現状維持。